



平成28年度は
世界遺産登録に向けた
重要な1年です。
私も1期4年目
締め括りの大事な年。
ハードワークします!!

剛! NEWS!!

政務調査報告書

第16号

観光を地方で稼ぐエンジンに!

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議において、「我が国は今、経済を最優先とし、GDP600兆円を目指した取り組みをスタート。中でも観光は成長の重要なエンジン。キーワードは地方と消費である」とあり、国が地方で観光推進する強い姿勢が示されました。観光庁は観光プラットフォームによる観光地域づくりを推進していますが、地方創生の流れを受けて<日本版DMO形成、確立の必要性>を新たに打ち出しました。

日本版DMOのDはデスティネーション(方面、行き先)、Mには二つ意味があって、マネジメント(経営、組織などの管理)とマーケティング(売れる仕組みをつくる)、Oはオーガニゼーション(組織、団体)のことです。このマネジメントとマーケティングは観光プラットフォームに必要なが不足している機能であり、DMOは、地域創生の方向性で観光を地方で稼ぐ力となるよう補完修正するもの、と私は捉えております。

このDMOの機能に関して、私は以前より専門性が高いマネジメントやマーケティングを東海大学福岡短期大学の観光文化研究所との協働や人材の公募、企業への委託することを提案し、マーケティングのためのデータ収集分析の必要性を訴えてきました。しかし、データに関しては東海短大への観光経済効果調査で対応しているものの充分ではなく、それ以外の部分は進展がありません。これは観光プラットフォームを行う全ての自治体がかつ課題であり、その原因は予算と人材の不足です。

予算は道の駅むなかたの益金、人材は観光文化研究所の人脈、を活用し現在の観光プラットフォームにDMOの機能を取り込み地域の関係各所を広く巻き込み全体の産業振興、雇用増加につなげていく。これが宗像版観光プラットフォームの完成形である、と考え提言しました。

日本版DMOの定義

地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する、観光地経営の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

基礎的な役割・機能(観光地域マーケティング・マネジメント)

- ① 日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- ② 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- ③ 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

難解な文章ですが、ざっくりいうと観光プラットフォームのバージョンアップでお金稼いでいいまじにしましょう、ということです。

●●●● 帰国児童と外国人児童への対応は？ ●●●●

世界のグローバル化に伴い、市内在住の外国人や同伴する子ども達を目にする機会が多くなりました。日本語指導が必要な児童は、言葉、文化、宗教、生活習慣と多様な背景を持ち、それぞれの対応や支援をする必要があります。

宗像市の小学校に通学している帰国児童は6名、外国人児童13名です。その受け入れ態勢は、学校から要望のあった3校8名に対し、県から配置された1名の教員が日本語指導にあたっています。

学校現場では兼務する日本語指導教員に加えて学力向上支援教員や担任が協力し対応していますが限界があります。また家庭では複雑な環境や仕事を優先せざるを得ない経済状況があるとも聞いています。それぞれに負担が多く、子どもへの十分なケアが出来ない厳しい実情があると思われま

す。また、全国的に学校に通えず初等教育の機会を失う不就学という問題もあります。外国籍の保護者には子どもに日本の教育を受けさせる義務はありません。実態の把握、行政サービスの提供にはまず住民登録が必要です。行政だけでなく地域の近所付き合いなど多方面からの住民登録のすすめが解決の糸口となります。

宗像は元祖国際都市としてグローバル人材の育成をすすめています。このような身近な生活の中にも世界につながるきっかけがあります。むなかた日本語教室という日本語学習支援のボランティアグループのお話を聞いた時に、受け入れる優しさは宗像人の特性だと感じました。この特性を活かし、ボランティアや大学など外部と協働して受け入れる場をつくる必要性を提言しました。



一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。
また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。
ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

●●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●●



1月 宗像サニックスブルースが入替戦でドコモを破り、トップリーグに振り返りました。ラグビーブームの中、日本最高峰リーグでの戦いがが楽しみです。ラグビー W杯キャンプ地誘致活動にも勢いができます。会派志政クラブの視察は島根県へ。石見銀山視察では中村ブレイスの中村俊郎氏の「生まれ育った町の誇りとその価値を伝える想い」に感銘を受けました。

2月 九州大学「環境・遺産デザインプロジェクト」成果発表会に参加しました。200名を越える満員の会場は雰囲気も良く、日の里の住民の持つ問題意識が、大学生の持つ研究心や若さ、情熱と化学反応を起こして盛り上がりにつながったのではないかと思います。住民とコミュニティ、大学の協働、それと行政のフォローという理想的な形でした。発表のなかで「幸福に感じて日の里に住み続けるには、市民活動を行い、地域につながるということ」というアンケート結果があり、意識の高さに驚きます。この住民力を持つ日の里に東郷駅前の空き店舗が8月にオープンします。団地再生の躍進を期待します。

3月 定例会では予算審議を行いました。世界遺産登録にむけ、追い風を受ける事業を前面にだす姿勢を確認しました。